

使い方の棚おろしシート・・・書き込んで使う1枚

上から順に埋めてください。最後まで書けば、必要な大きさ・動かし方・装備が自然に決まります。店に行く前にやる作業です。

印刷して手書きで埋めるのがおすすめです。家族と一緒に埋めると、認識のずれが先に見つかります。

STEP 1 誰を乗せ、何を積み、どこへ行くか

頻度ごとに分けて書く・・・これがいちばん大事

	毎日／週に数回 この列で車を決める	月に数回 ときどきの用途	年に数回 ここに合わせない
誰を乗せるか	例) 自分ひとり、夫婦		
何を積むか	例) 通勤かばん、買い物袋		
どこへ行くか	例) 職場、スーパー		

STEP 2 年間走行距離と、街乗りと高速の比率

感覚ではなく、数字にする

用途	計算	年間km	うち高速km
通勤・通学	片道×2×日数×12	km	km
買い物・送迎	1回×回数×12	km	km
通院・用事	1回×回数×12	km	km
帰省・旅行	片道×2×年の回数	km	km
その他		km	km
合計		km	km

街乗りと高速の比率

街乗り	%	高速	%
-----	---	----	---

高速km ÷ 合計km × 100 = 高速の比率

1割以下	ハイブリッドや軽が効く。小回りと駐車のをやすさを優先
2～3割	どちらも中庸に。コンパクトカーやSUVがちょうどよい帯
3割以上	高速の快適さにお金を払う価値が出る。図解⑮の7項目を確認
5割以上	車格・静かさ・運転支援を最優先。ディーゼルも候補に

STEP 3 ここまでで決まること

埋めた内容から書き出す

大きさ

いちばん多い乗車人数と荷物、そして自宅の駐車場から決まります

動かし方

自宅で充電できるか＋年間距離＋高速の比率で決まります（第2講）

駆動方式

雪や坂が生活圈にあるか。降らない地域なら2WDで十分

絶対に要る装備

スライドドア、運転支援など。ここに書いたものは妥協しない

🏆 いちばん大事な原則

頻度の低い用途に、車を合わせないこと。年2回の帰省のために3列シートを買うと、残りの363日を大きな車で過ごすことになります。年2回なら借りるほうが安く、快適です。

💡 「要らない」を決めておく

要らない装備を先に決めた人は、店頭で迷いません。勧められても即答できるからです。この箱が空のまま店に行くと、全部が魅力的に見えてしまいます。

⚠️ 1週間だけ記録してみる

数字が分からないときは、1週間の移動距離を記録してください。地図アプリの履歴で十分です。1週間ぶんが出れば、1年ぶんはかけ算で出ます。